

施策番号 5-1-1	施策名 徹底した情報公開と説明	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり		
		政策名	町民が主役となった地域づくり		
主管課 施策関係課	企画財政課	課長名	石田 哲	内線	220
	総務課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
町民と行政の情報の共有化を図るため、情報公開や説明を徹底します。		町民	町民と行政との情報の共有化を図る				的確な情報伝達による生活利便性の向上と、まちづくりへの住民理解を図る
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
①	行政情報の公開や説明責任が十分果たされていると思う町民の割合	%	54.5	57.8	58.1	60.0	
②							
③							
成果指標設定の考え方	①前期実施計画の目標は55%で前期期間中55%を超えた年が3年あったことから、60%を目指す。						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	23,656	23,915
人工数(業務量)	2.1517	1.9947

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標はほぼ横ばいであり、変わらなかったと判断した。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	ホットボイスの手段の増加、めむろ未来ミーティングの回数増加、SNSの活用など、様々な手法により、情報発信や町民の声を聴く機会を充実させており、概ね達成できたと判断する。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	広報事業 広聴事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ●フェイスブックに加え、インスタグラムを新たに開始した。 ●広聴事業として行っている「そよ風トーク」を「めむろ未来ミーティング」に改め、より小規模な団体とも意見交換を行うことを積極的にPRした。 ●広聴機能としてのホットボイスは、メール、はがきのほかに、QRコードによりスマホからも対応できるようにした。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 自分が直接関わることの少ない事業については、関心が薄くなるのが一般的であり、結果として、説明責任が果たされていないと感じてしまう場合もある。</p> <p>《今後の予測》 「徹底した情報公開と説明」と「町民参加の促進」の両施策は密接な関係にあり、SNSなど情報を入手する手段を拡大していくことが成果の向上につながるものと考えたとともに、シティプロモーションの取組みが期待されている。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>施策全体に関わる意見・要望はないが、すまいるモニター及びすまいるアンケートにより、広報誌に対する意見・提案をいただいている。</p>

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たにに取り組むべき課題)

<p>課題① 行政情報の管理 行政情報の開示請求が増加している反面、個人情報保護の徹底が求められている。</p> <p>課題② 情報発信手段の拡充 広報紙など紙面による周知の他、特に若者を中心としたインターネットを通じた情報ツールが発達しているため、SNSなど情報のタイムリー化、見やすさ、検索のしやすさなど、常に見直す必要がある。</p>
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	指標も向上しており、SNSの活用や広聴手段の拡大など、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	時代に合った様々な情報発信手段を使い、有効的に情報発信をしてもらいたい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価と同じく策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	ホットボイスや未来ミーティングなどの町民からの意見がどのように反映されているか、一方通行と感じられないような取組を進めてほしい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					